

新潟市マンガ・アニメ情報館

新潟市マンガの家

令和 6 年度 指定管理業務報告書

- 1 両館運営総括
- 2 両館施設管理
- 3 情報館 実施企画展、イベント
- 4 家 実施企画展、イベント
- 5 施設間連携 アウトリーチ
- 6 広報活動
- 7 自主事業利益金の運営費への充当
- 8 その他

新潟市マンガ・アニメ情報館 新潟市マンガの家 指定管理者
にいがたアニメ・マンガプロジェクト共同体
代表法人 学校法人国際総合学園

1. 両館運営総括

運営重点項目	① 1年を通して開館し、市民サービスの向上に努める。 ② 両館合計利用者数 50,000 人以上を達成する。 ③ 清潔で安全な施設運営を尽くす。 ④ 新しい施設利用の可能性を追求する。 ⑤ 地域と密着した企画、イベントの開催を通し広く新潟市民に親しまれ利用される施設となる。
--------	---

R6 年度は本格的になってきたインバウンドや相次ぐ物価上昇などへの対応も大きなテーマとなった。また、両施設の新たな利用法や市民交流の形などを模索、新たなチャレンジとして取り組み、成果を出してきた。入館人数においても目標を大きく上回る結果となり、運営内容とともに充実した1年とした。情報館においては年6本の企画展のうち、新潟ゆかり作家のものを2本開催したことにより、施設のコンセプトを大いに体現できたと感じている。

施設維持管理については老朽化する常設展示機器のメンテナンス、機種交換などに対応する件数も多くなった。照明器具は完全 LED 化を推進し、光熱費の圧縮などに充てた。省エネルギーの観点から古くなった設備、システムの維持よりも、より省力的、効率的な物への交換を前提に準備してきた。

アウトリーチにも注力した。学校などへの出張講座の内容を分野の職業としての認知、啓蒙と創造する喜びを伝えることに重きを置き、施設の教育的な存在価値のアピールに努めた。

両館入館状況	新潟市マンガ・アニメ情報館	36,245 人
	新潟市マンガの家	25,065 人
	両館合計	61,310 人
	(2 館合計目標 50,000 人に対し 122.6%)	

2. 両館施設管理

施設管理については下記の点に重点を置き必要なものを適宜実施した。

- ・ 感染対策オペレーションの継続
- ・ 光熱費高騰、環境保護への対応として施設照明運用の見直し
- ・ 老朽化した箇所や機器のメンテナンスや交換、代替。
- ・ 経費削減、コスト管理をスタッフ全員で強く意識し運営にあたる。

情報館、家ともに常設展示物を制御するパソコンやワークステーション、モニター、プロジェクターなどの稼働機器の経年劣化が目立ってきた。メンテナンスの範囲を超え、絶対的な寿命を迎える機器も多くなってきたことから、より省電力で効率の良い機器への交換を行った。

実施名	内 容
防犯カメラの入れ替え (マンガの家)	2F ワークショップの様子を1Fの受付でも把握できるように、カメラの台数を1台増やす必要があったが、「使用中の防犯カメラが古く（画素数が低い）視認性が悪い」「毎月使用料金が発生している」等の理由により、安価で高性能な防犯カメラシステムに入れ替えて、月々の使用料金を下げた。（※次年度以降は従来より年間 52,800 円の削減となる）

3. マンガ・アニメ情報館

(1) 常設展

①ピックアップコーナー

・地域ゆかりの情報を発信するスペースとして、常に新鮮な情報を展開することに注力。地元作家出版情報や地元マンガ・アニメ関連情報を適宜掲示した。

新潟在住マンガ家仲曾良ハミ先生出版情報掲示
新潟在住マンガ家はやしわか先生複製原稿展示 出版情報掲示
新潟在住マンガ家 MIDORI 先生出版情報展示
新潟在住小説家敷村良子先生原作アニメ「がんばっていきまっしょい」情報掲示
情報館、家が登録されている「アニメ聖地 88 か所」の認定書や記念スタンプなどを展示
新潟国際アニメーション映画祭アピールブース設置
古町と団五郎イラスト展 にいがたマンガ大賞児玉直樹先生応援イラストと学生作品
過去開催企画展ポスター展示
来館作家サイン展示

②入館者数

月	有料	無料	合計	備考
4	284	64	348	
5	454	105	559	
6	354	26	380	
7	496	75	571	
8	1,379	190	1,569	※8月6日まで開催した「デスノート展」以外の企画展を開催しなかった為、相対的に常設展入館者数が増えたと思われる
9	576	53	629	
10	297	49	346	
11	520	445	965	11/3 常設展示室無料開放（文化の日）
12	411	50	461	
1	323	44	367	
2	522	126	648	2/13～2/16 開志専門職大学アニメ・マンガ学部卒業展覧会 2025 開催
3	900	198	1,098	3/15～3/20 第 3 回新潟国際アニメーション映画祭 3/15 声優体験講座（新潟市文化政策課主催）
合計	6,516	1,425	7,941	※前年比 122.3%

(2) 企画展

①入館者数

No.	企画展名	開催期間	開催 日数	有料 人数	無料 人数	合計 人数
1	リコリス・リコイル展 ～seize the day～	2024 年 4 月 6 日 ～5 月 6 日	31	6,395	660	7,055
	(主催) リコリコ展新潟実行委員会 (新潟市/B S N新潟放送)					
	(趣旨) 2022 年に放送されたオリジナルアニメーション。10 代からの若い世代を中心に熱狂的な人気を誇る作品。1 期放送本編は全 13 話と短かったが、その後コミカライズ、ノベライズ、舞台化、ラジオなどメディアミックスによる認知拡大を図る手法は極めて現代的。そのせいか、コア層と予測した 20 代男性の他、女性、ファミリーの幅広い来館も多く、想定を上回る結果となった。					
2	赤坂アカの世界展 ～『かぐや様』『【推しの子】』『恋愛代行』にみる脳内探求～	2024 年 5 月 11 日 ～6 月 30 日	51	3,951	988	4,939
	(主催) 赤坂アカの世界展新潟実行委員会 (新潟市/B S N新潟放送) (共催) トラフィックプロモーション (協力) 集英社					
	(趣旨) 新潟県佐渡市出身のマンガ家赤坂アカ先生が手掛けた 3 作品をまとめた展覧会。世界的なヒットとなった『【推しの子】』原作者。地元出身作家として開催初日に先生のサイン会を開催。まさに世界が注目するクリエイターとしてサイン会など直接の露出はあまり行っていないにも関わらず、地元ということもあり当館からのオファーにご快諾いただき実現した。先生自身も広報CMにご出演されるなど地元開催にご尽力いただいた。客層は小学生のお子様連れのご家族、2, 30 代男性が多かった。					
	(関連イベント) ・情報館特別イベント『赤坂アカの世界展』新潟会場開催記念 赤坂アカ先生サイン会 (5/11) ※定員 100 名/抽選					
3	DEATH NOTE EXHIBITION	2024 年 7 月 6 日 ～8 月 6 日	32	5,053	358	5,411
	(主催) DEATH NOTE EXHIBITION 新潟実行委員会 (新潟市/B S N新潟放送)					
	(趣旨) 新潟市東区出身のマンガ家小畑健先生の代表作『DEATH NOTE』の連載 20 周年を記念した原画展。今では大変貴重になった紙の原稿用紙に描かれた美麗な原画が約 400 点並び来館者を圧倒した。世界的に有名な同作を象徴するように海外からの来場者も多かった。展覧会記念グッズの販売は大好評で売り上げも膨らんだ。これは同作の海外認知度の高さから海外（特に中国）からの大量購入者が多く来場したことも大きい。本格的なインパウンドへの対応力を強く意識することができた機会にもなった。					

4	浦安鉄筋くだらね～展	2024 年 8 月 24 日 ～9 月 30 日	38	918	311	1,229
	(主催) 浦安鉄筋くだらね～展新潟実行委員会 (新潟市/N S T /株式会社ライブポート)					
	(趣旨) 秋田書店週刊少年チャンピオンで連載中のギャグマンガ作品 30 周年を記念した展覧会。ギャグマンガ作品の展覧会は珍しいが、長い歴史と人気を持った同作だからこそ企画。貴重な原画だけではなく、その奔放な世界観を存分に感じることができるよう会場内にたくさんの笑える仕掛けが設置された。入場者数は振るわなかったが、3, 40 代男性の熱狂的なファンとその家族の来館は多かった。ギャグマンガの祖である赤塚不二夫先生ゆかりの新潟としては現代のギャグマンガの象徴たる同作の展覧会を開催できたことは大きな意味があると感じている。					
5	絵師 100 人展 14 新潟篇	2024 年 10 月 5 日 ～11 月 17 日	44	2,081	666	2,747
	(主催) 絵師 100 人展 14 新潟篇実行委員会 (新潟市/N S T)・産経新聞社					
	(趣旨) 今回で 14 回目になる毎年恒例の大イラストレーション展。国内外で活躍する出展絵師 100 人の中に新潟出身作家 2 名が出展している。今回は地元専門学校 J A M 日本アニメ・マンガ専門学校の在校生を対象にした作品解説会を会場内で開催。クリエイターを目指し、腕を磨いている学生の創作活動に刺激になるような観点で数点の作品の魅力、構成、テーマを分析した内容を説明した。大きな画面で作品を見ることができる本展の優位性を生かし、詳細に解説することができた。今後も同様の機会を設けることで次世代の育成にもつながる展覧会にしていきたい。					
6	アニメ「ぼっち・ざ・ろっく！」展	2024 年 12 月 14 日 2025 年～1 月 19 日	36	6,133	790	6,923
	(主催) ぼっち・ざ・ろっく！展新潟実行委員会 (新潟市/B S N 新潟放送/株式会社ライブポート)					
	(趣旨) 2018 年に連載をスタートしたマンガを原作とし 2022 年に放送された同作 TV アニメの展覧会。女子高生がバンドに打ち込む姿をコミカルに描き大人気となった。同作の人気は音楽界にもおよび、劇中の楽曲がヒットチャート上位にランクインし、実際に女子高生の中でバンドブームが起きたり、劇中に出てくるギターが売れたり社会現象化している。本展広報も市内ライブハウスや楽器販売店などにも展開した。男女問わず幅広い客層を獲得。年末年始のご家族、お仲間同士のお出かけの目的にふさわしい開催となった。					
企画展 合計			232	24,531	3,773	28,304

(3) その他イベント

開催日	イベント名	参加人数
2024 年 8 月 9 日 ～11 日	初音ミク×新潟まつりコラボイベント (協力) Gugenka ※Gugenka (新潟市の IT 企業) 主催の初音ミクイベントについて企画運営協力した。情報館物販エリアでのオリジナル商品の販売や同フロア関連イベント運営への協力を通して施設の利用、存在認知につなげた。	1,292 名
2025 年 3 月 15 日 ～31 日	新潟県主催「こむすび県新潟 転居したらニイガタだった件」展示 ※人気アニメ「転生したらスライムだった件」と新潟県の子育て移住プログラムのコラボ展示。取り組みの紹介や描き下ろしキャラクタースタンディなどを展示した。	展示アン ケート 回収 54 件

4. マンガの家

(1) 入館者数

	2023 年度		2024 年度		前年比較	
月	入館数	WS 参加数	入館数	WS 参加数	入館数	WS 参加数
4	1,698	284	2,620	534	922	250
5	2,159	327	2,558	584	399	257
6	2,023	257	2,175	459	152	202
7	2,560	504	2,415	534	▲ 145	30
8	2,530	635	2,917	751	387	116
9	1,980	290	2,044	319	64	28
10	2,033	378	2,268	355	235	▲ 23
11	2,052	461	2,041	314	▲ 11	▲ 147
12	1,210	162	1,218	375	8	213
1	1,072	284	1,254	382	182	98
2	1,797	358	1,494	399	▲ 303	41
3	2,511	422	2,061	526	▲ 450	104
合計	23,625	4,362	25,065	5,532	1,440	1,169

※WS…ワークショップ

2023 年 2 月あたりから外国人観光客が増え始め、3 月より開催「太田じろうの世界展」の開催により更に来館数が増加した。また、外国人観光客の増加は継続して 8 月まで続いた。

(2) 購入したマンガ本

本年度は下記のマンガ本を蔵書に加えた。

作家名	タイトル	巻数
荒木 飛呂彦	ジョジョの奇妙な冒険	1～5
おみなえし	魔法使いロゼの佐渡ライフ	1～2
しげの 秀一	MF ゴースト	2～6
鳥山 明	Dr.スランプ	3,5,18
魔夜 峰央	May 探偵プリコロ	2
柳沢 きみお	特命係長 只野仁	3～4
柳沢 きみお	大市民	2
岡野 玲子	ファンシィダンス	4
高橋 留美子	漫画家本 vol.14 高橋留美子本	
高野 文子	いずみさん、とっておいてはどうですか：高野文子と昭和のくらし博物館	
えんど コイチ	死神くん	1（文庫）
あずま 京太郎	セイクリッドセブン	1～2
むろなが 供未	バリスタ	1～5
和月 伸宏	エンバーミング	2～7
山岸 凉子	日出処の天子	7
トウテムポール	或るアホウの一生	1
山本崇一朗	それでも歩は寄せてくる	1～2
柴田ヨクサル	ハチワンダイバー	1～2
南Q太	ひらけ駒！	1～2
池沢春人	ものの歩	1～2
柳本光晴	龍と莓	7

※既存の蔵書の抜けている巻の補充の他、新潟ゆかりの作家の作品や両館で開催した企画展の作品を購入している。

他、蔵書を活用した「おススメ本棚コーナー」を下記のように設置した。

藤井聡太新潟市対局記念 将棋マンガ特集
新潟シティマラソン開催記念 新潟作家のスポーツマンガ特集
新年度新しいことはじめよう きっかけのマンガ特集
冬に読みたい LOVE 物語
新潟在住マンガ家最新刊特集

(3) 企画展

毎年恒例の展示の他、地元作家を取り上げるシリーズ企画展「押し絵師」では仲曾良ハミの世界展を展開。今後も施設からの新しい地元文化発信として開催していく。

No.	企画展名	開催期間	開催 日数	期間中 入館人数
1	太田じろうの世界展 (※前年度 3/22 より開催。延長含め 6 月 25 日まで)	2024 年 4 月 1 日 ～6 月 25 日	86	7,012
	(趣旨) 昭和 30 年代に子供マンガ雑誌で活躍した太田じろう氏の作品を集めた展示。昭和レトロが注目される昨今、時流に乗った内容として若い方にも好評。西蒲区巻にあるおもちゃ屋「はしもと玩具店」の協力により氏のキャラクター「ぽっこちゃん」にフィギュアも展示した。			
2	仲曾良ハミの世界展	2024 年 6 月 27 日 ～9 月 24 日	90	7,277
	(趣旨) プログマンガとして SNS で発表したマンガ「しなのんちのいくる」が大ヒットしている新潟市在住マンガ家仲曾良ハミ先生初の企画展として開催。マンガの他、先生の初エッセイの挿絵イラストや作品の時代性を感じさせる懐かしいおもちゃや雑誌なども合わせて展示することで世界観を表現した。			
合 計			176	14,289

(4) にいがたマンガ大賞作品展

No.	作品展名	開催期間	開催 日数	期間中 入館人数
1	第 27 回 にいがたマンガ大賞作品展	2025 年 2 月 13 日 ～3 月 11 日	27	1,657
合 計			27	1,657

(5) その他イベント

開催期間	イベント名	参加人数
2024 年 7 月 14 日	仲曾良ハミの世界展サイン会 ※昨年に引き続き 2 回目の開催。作品の認知度が上がり、前回の 3 倍の参加人数を記録した。	90 名
2024 年 12 月 19 日 ～2025 年 2 月 11 日	新潟市立南万代小学校 イラストクラブ作品展 ※当館のアウトリーチ先小学校の校外での初の生徒作品展示。 当該校とは数年にわたりアウトリーチを取り組んでおり、その関係性が実現したもの。	—

(6) ワークショップ

市民の創作活動支援を目的とし、2階ワークショップコーナーでは制作講座「マンガのいっぽ」を中心に「缶バッジ制作体験」「塗り絵体験」を常時展開している。今年度は特に利用者のリピーター化をテーマとし、何度来ても新鮮に感じていただけること、講座内容の丁寧な発信、告知を心掛け下記のような取り組みを行った。

講座名	内容	開催回数	参加人数
マンガのいっぽスタジオ	マンガ講座講師によるマンガorイラスト制作実演＋マンガのペン体験を実施。マンガづくりのお悩みやコツなどの質問にも対応する。	172回	72名
はじめてのコピックマーカー講座	プロのマンガ家やイラストレーターも愛用する『コピックマーカー(カラーマーカー)』を使ってぬりえに取り組む。	9回	31名
はじめてのスピード線&集中線講座	マンガにおいて「車が走る」「カッコいいキャラが登場する」などの際にスピード感や迫力を表現するスピード線・集中線の描き方を学ぶ。	8回	15名
はじめてのトーン講座	マンガ原稿に貼るスクリーントーンの使い方を学ぶ。	8回	11名
はじめてのベタぬり講座	マンガ原稿の指定された部分を黒く塗りつぶす「ベタぬり」。影や光沢などを表現するための技法を学んで表現力アップを目指す。	8回	16名
はじめてのロゴデザイン・描き文字教室(新規)	伝えたいイメージに合わせて文字をデザインする「ロゴ」、マンガの中に音を生み出す「描き文字」。描き方の共通する基礎を学ぶ。	2回	9名
デジタルイラスト体験会	iPadを使ったデジタルイラストソフト体験会。	15回	78名
古町と団五郎きせかえコレクション	花野古町と笹団五郎の衣装を描く。	6回	8名
世界を創ろう！ かんたんストーリーメーカー！	キャラクターのカードと背景のシートを組み合わせて、ものがたりを作成する。	8回	11名
人物の顔を作ってみよう教室	用意したパーツを組み合わせる事で、キャラクターの顔を作成する。	9回	32名
はじめてのかんたん4コマ教室	最後の「結末」を考えるだけで、4コママンガを作成する。	12回	37名
かんたんキャラクターメイキング教室	用意したパーツをタブレット上で組み合わせて、オリジナルキャラクターのビジュアルと設定を作成する。	11回	28名
キャラクターデザイン講座 0から始める武器デザイン(新規)	好きなものを詰め込んだ自分だけのオリジナルの剣や杖をデザインする。	1回	3名
みんなで彫る！こいのぼり祭2024	参加者の作品で、新潟市マンガの家館内にこいのぼり祭を再現する。	6回	25名
雨空彩る！ アンブレラスカイを作ろう！2024	空中に色とりどりの傘を吊るして作るイベント「アンブレラスカイ」を、参加者作品で再現する。	5回	14名
暑中お見舞いイラスト作成会2024	各種画材を使用して、暑中お見舞いのイラストを作成する。	6回	44名
みんなで作ろう！ ハロウィン百鬼夜行パレード2024	古今東西の「モンスター」にぬりえをして、参加者作品で館内にハロウィンのパレードを再現する。	4回	16名
クリスマスカード& 年賀状イラスト作成会2024	各種画材を使用して、クリスマスカードや年賀状のイラストを作成する。	5回	24名
作ってあそぼう！節分 鬼マスク2025	各種画材を使用して、鬼のお面を作成する。	4回	38名
作っておくろう！ バレンタインカード2025	各種画材を使用して、バレンタインカードを作成する。	4回	28名
オリジナルおひなさまメーカー(新規)	「おひなさま」がテーマの様々なパーツを組み合わせて、オリジナル「おひなさま」を作成する。	3回	21名
缶バッジ制作ワークショップ	毎日開催。オリジナルの缶バッジを作成する。	308日	2799名
ぬり絵・ベタ塗りコーナー	素材を常設し配布。ワークショップコーナーだけでなく、自宅でも作業に取り組める。	308日	2172名
合計			5532名

ぬり絵素材を全 116 種作成した
季節に合わせて体験素材を入れ換え提供した
全利用者からアンケートを回収しニーズを分析
X で講座・ワークショップの内容と完成イメージ図を添付する形で毎回発信
マンガの家公式グループ LINE の活用
新規講座の企画と、既存講座のフィードバックを行い運営方法を改善した
好評を得た講座の実施回数を増やした
館内ルール周知のため、注意喚起の表示の作成とアナウンス放送を実施
アウトリーチ実施校生徒作品展示を開催
にいがたマンガ大賞「こどもマンガ講座」開催誘致と実施回数増
特にシニア層獲得に向けた新規体験講座を実施。 ※「本を作ろう講座」「ロゴデザイン講座」
外部企業からの講座開催。 ※「マンガサイトバナー制作講座」

5. 施設間連携 アウトリーチ

① 情報館、マンガの家の連携事業

マンガ・アニメ情報館	マンガの家
●「仲曾良ハミの世界展」(分展) 常設展ピックアップコーナーを使用し、マンガの家にはない作品を展示	●「仲曾良ハミの世界展」(本展) 両館入館でオリジナルポストカードプレゼント(322枚配布)

② 新潟市新津美術館との連携事業『出前美術館・マンガワークショップ』

講座名「簡単マンガ教室」

※講師 1 名を派遣。デッサン法、4 コママンガ制作と共にマンガ家・アニメーターなどのお仕事を紹介し子供たちのキャリア形成に活用していただく。

2024 年 9 月 26 日	新潟市立白根北中学校 美術部	7 名
2024 年 10 月 7 日	新潟市立東曽野木小学校 6 年生・イラストクラブ	計 42 名

③ 情報館・マンガの家独自のアウトリーチ

上記と同様の出張講座実施を希望する各学校、団体からの要望へ積極的に応えた。

クラブ活動では、生徒から寄せられた技術的な悩みに応え、また希望者の作品添削、作品の提供を行った。子どもたちへのキャリア指導、進路講話といった内容の希望があった場合は、マンガ家やアニメーターの仕事内容、実現の方法なども授業内容に含んでいる。

2024 年 6 月 24 日～ 全 3 回	新潟市立阿賀小学校 マンガ・イラストクラブ（4～6 年生）	のべ 36 名
2024 年 6 月 16 日	三条市立図書館 まちやま 出張版「マンガのいっぽ」マンガイラスト制作講座	20 名
2024 年 10 月 26 日	三条市立図書館 まちやま 出張版「マンガのいっぽ」手のデッサン講座	16 名
2025 年 2 月 27 日	新潟市立潟東小学校 6 年生 キャリア講話	36 名
2025 年 2 月 9 日	三条市立図書館 まちやま 出張版「マンガのいっぽ」コンテスト入賞のコツ講座	20 名

④ 近隣学校見学・実習受け入れ

・「総合的な学習」でのインタビュー対応

2024 年 4 月 24 日	新潟市立中野小屋中学校 2 年生	9 名
2024 年 4 月 24 日	新潟市立木崎中学校 2 年生	10 名
2024 年 6 月 27 日	上越市立中郷小学校 6 年生	17 名

・「総合的な学習」での職場体験

2024 年 7 月 2 日～3 日	新潟市立鳥屋野中学校 2 年生	3 名
2024 年 7 月 2 日～3 日	新潟市立東新潟中学校 2 年生	3 名

・臨地実務実習

2024 年 4 月 12 日～ 2025 年 1 月 31 日	開志専門職大学アニメ・マンガ学部 2 年生	5 名
-------------------------------------	-----------------------	-----

6. 広報

基本的な広報として各施設ホームページと X を中心に展開した。ホームページでは情報館であれば企画展の開催、またそれに伴ったイベントの開催を掲載し、マンガの家ではイベント講座の開催、各月講座スケジュールを掲載した。合わせてマンガの家では、地元 WEB 媒体にも協力を仰ぎ、イベント講座開催の周知を拡げた。X に関してはこのジャンルを好む層に向けて大変有効な伝達手段であるため、その反応をつぶさに分析しながら、昼夜問わず効果的なタイミングで展開した。

今年度の情報館企画展については特にグーグル広告の活用に注力し効果を実感している。相変わらず新潟では地上波 TVCM の効果も大きい中、残るポスター、チラシなどの広報手段については効率的な予算運用の観点から運用の見直しの検討を始めた。

【主な広報実績】のべ 62 媒体にて掲載

TVCM：情報館開催各企画展（各 15 秒）

TV・ラジオ中継：共催する地元 TV・ラジオ局の番組の一コーナーやニュース

タウン誌：月刊にいがた

新聞、折り込み情報紙：新潟日報、新潟情報、週刊 Voice!(会津)

WEB サイト：

日刊にいがた WEB タウン情報、Komachi Web、& Komachi、おで Café、まいぶれにいがた、SHIKAMO、他

「情報館・マンガの家ホームページ P V 数合計：455,883（前年比 83.2%）」

7. 新しい施設利用への取り組み

昨年度に引き続き今年度も両館ともに施設の価値向上を狙い新しい利用の形を模索した。特に広く創作の喜びを感じていただける「学び」体験を多く実施した。

開催期間	イベント名	参加人数
2024 年 10 月 25 日～ 毎月 1 回実施	●マンガの家：みんなのデッサンラボ ※18 歳以上を条件としたデッサンクラブ。毎月第 4 金曜日に開催。18 時～20 時の開館時間延長を行い社会人の方でも参加しやすい環境を設定した。	毎月平均 12 名 クラブ登録者数 31 名
2024 年 10 月 26 日	●マンガの家：新潟市主催「次世代育成事業」プロから学べるマンガアプリ会社のデザイナーお仕事体験 ※マンガ作品のパナー広告をデザインする職業体験	19 名
2025 年 3 月 15 日	●情報館：新潟市主催「次世代育成事業」プロから学べる声優体験ワークショップ ※日本アニメフィルム文化連盟の協力でプロ声優から直接指導を受けるワークショップ。小 5～高校生までを対象。	20 名
2025 年 2 月 13 日～ 16 日	●情報館：開志専門職大学アニメ・マンガ学部卒業制作展 ※新潟市と連携協議を結んでいる同学初の卒業制作展を開催。約 40 名の学生作品と教授陣の創作物 10 点を、企画展示室を使って展開。在校生、保護者の他、情報館常設展のお客様も多く立ち寄り、より開かれた制作展となった。	450 名
2024 年 10 月～	●情報館常設展の新たな利用促進策として「学校関係者向け職業啓蒙・教育」講話メニューを作成し案内ページ H P 公害に追加。職業としての同ジャンルを解説する 6 つのメニューを揃え、キャリア教育に関心が高まっている小中学校などの郊外学習や修学旅行などに活用していただくことを狙いとした。	問い合わせ 3 校 うち実施 2 校 のべ 10 名

7. 運営費への充当

No.	勘定科目	内 容	金額（円）
1	企画展示費用	基本協定で定める額 2,140 万円を超える支出金額（両館）	961,780
2	使用賃借料	BP 共用部（受付・倉庫面積）年間使用賃料（情報館）	726,000
3	備品費	防犯カメラ入れ替え工事一式（マンガの家）	187,000
4	通信運搬費	ホームページ SSL 証明書の取得・設定（両館）	39,160
5	雑費	旧防犯カメラシステム一式その他機械類の廃棄処分費用（両館）	42,460
6	雑費	機械警備取付工事費（マンガの家）	72,600
7		その他人件費及び運営費の不足分金額（両館）	1,875,402
合 計			3,904,402

■企画展示費用

人件費や原材料費の高騰が企画費、車両運搬費、会場設営費等に価格転嫁されており、慢性的に企画展示費用が不足しているため、自主事業利益金から充当した。

■使用賃借料

BP 共用部の年間使用賃料は以前より自主事業利益金から充当している。

■人件費

年度当初より、人件費の年間予算金額を前年度（2023 年度）の実績から約 200 万円多く計上（前年比 4.7% 増）しており、自主事業利益金から不足分を充当する事が前提となっている。

※今年度は新潟市から人件費支援金及び水光熱費支援金が支給されたことにより、運営費への充当金額は当初予算より約 73 万円抑えることができた。

以上により、今年度は自主事業利益金全体の約 40% に当たる **両館合計 3,904,402 円** を自主事業利益金より運営費に充当した。

8. その他

（1）外部研修・会議等

Zoom 等によるオンライン方式での研修や会議はすでに一般化されており、プロモーターや設営業者等との打ち合わせや会議等はオンラインで行われている。

■参加した研修・説明会

- ① 考課者研修（NSG 人事部主催）
- ② ハラスメント防止研修 全 2 回（NSG 経理部主催）
- ③ 情報館入居施設 BP 店長会議（新潟交通主催。毎月開催）
- ④ 自治体連携会議（文化庁主催、マンガ・アニメ・ゲーム等関連施設間連携。年 2 回）

（2）県外・国外からの入館者数の把握

前年度に引き続き、県外や国外からの入館者数を把握する為、どこから来たかをシールで貼ってもらうマップを作成し、情報館・マンガの家両館に設置している。

本年度は4月～8月、また2月～3月に国外からの来館が増えており、例年に比べて特に欧米系の外国人の来館者が増えている印象を受ける。情報館受付では目視でのカウントではあるが、1,562人（前年度は841人）と前年度の1.86倍となった。

